

このたびは WOOD ONE の商品をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。施工前にはこの説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願いいたします。なお、お気づきの点、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく弊社までお問い合わせください。

## 安全上のご注意



## 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じる恐れがあります。確実にお守りください。



## 屋内専用です。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。



## 開梱後は換気を行なってください。

本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながる恐れがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。



## 下地材の取り付けは確実に固定してください。

化粧造作部材が落下して、ケガの原因となりますので、下地材の取り付けは壁面より、柱・間柱に確実にステーブルで固定してください。



ボンド併用!

## 化粧造作材の固定を確実に行ってください。

化粧造作材を後かぶせで固定する際、落下して、ケガの原因となりますので、樹脂シート専用ボンド併用にて、確実に本体を下地材へかぶせ込み、固定してください。

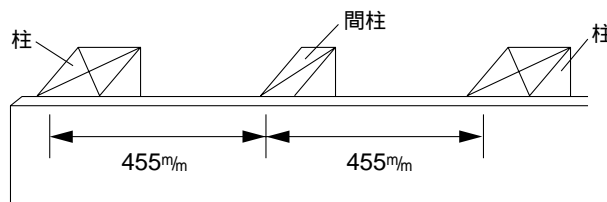
# 1. 開梱 .....

梱包を解いたら、該当するセットに、不足および問題がないかどうかを確認して下さい。製品に水濡れなど不具合があった場合は必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

部 材 名		断面形状	長さ×巾×厚さ(%)	梱包入数
付柱(下地材同梱)			2700×105×15 (下地材2700×80)	2本 (2本)
付長押(下地材同梱)			6畳セット 3900×90×24 2900×90×24 (下地材1950×80) (下地材 900×80)	2本 2本 (6本) (2本)
付鴨居(下地材同梱)			3900×36×13 (下地材1950×30)	2本 (4本)
廻り縁(下地材同梱)			1900×36×13 (下地材1950×30)	2本 (2本)
廻り縁(下地材同梱)			3900×40×24 (下地材1950×30)	2本 (4本)
廻り縁(下地材同梱)			2900×40×24 (下地材1950×30)	2本 (2本)
廻り縁(下地材同梱)			(下地材 900×30)	(2本)
畳寄せ	当社規格畳用 (無垢材)		3900×15×12	4本
	一般畳用		3900×55×15	2本
隅柱			1900×55×15	2本
隅柱			2700×15×15	4本

# 2. 壁面プラスターボードの施工 .....

大壁用和風造作材ですので、柱、間柱等の壁面下地上に、プラスターボードを施工します。  
(その際、柱、間柱位置を御確認ください。)



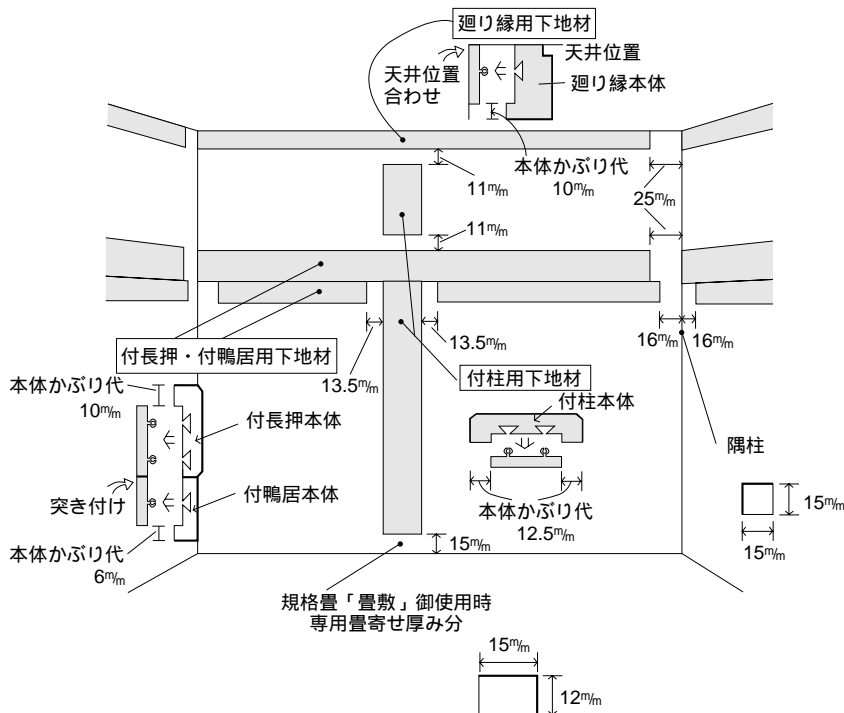
# 3. 各造作材の下地材の取り付け .....

## ⚠ 注意

造作材の下地材の取り付けは、柱、間柱等の下地に確実に固定されていないと、付長押等、造作部材が落下して、ケガの原因となります。各造作材用の下地材を装着済みの両面テープ併用の上、確実に、柱、間柱等に、ビスにて固定してください。

各下地材の取り付け位置

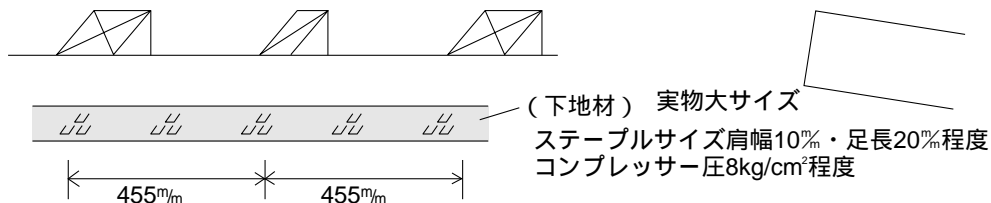
下図の様に造作材本体のかぶり代分、又、留め継手での本体厚み分を考慮して、各下地材の取り付け位置を決めてください。



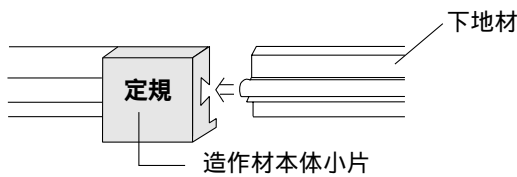
各下地材の固定

各下地材は装着済みの両面テープで壁面に仮固定し、柱、間柱にステーブルにて確実に固定します。

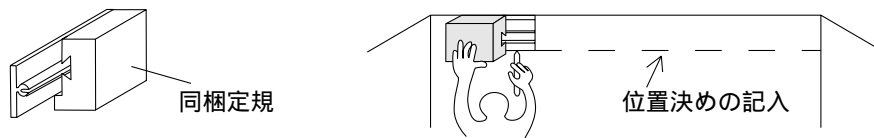
下地材と壁面との接地を安定させる為、ステーブルは303mm以内の間隔で千鳥で止めてください。



下地材は長さ=1950mm(または900mm)となっていますので、ジョイントして御使用の際は継手部分はずれない様、御注意ください。同梱の定規(現物カット品)にて、下地材にかぶせながら施工されると精度よくジョイントできます。



各下地材、同梱の定規(現物カット品)を位置決め用の定規として御使用になりますと、より精度よく、下地材の墨出しができます。

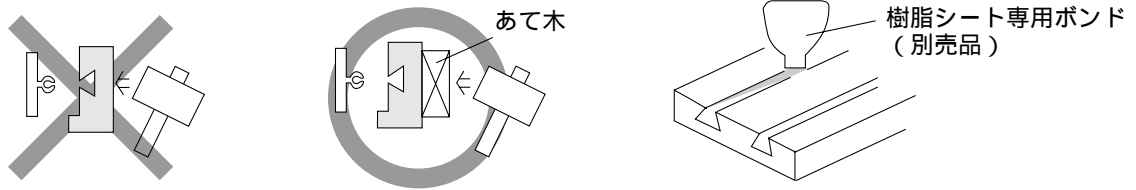


4 . 造作材本体の取り付け .....

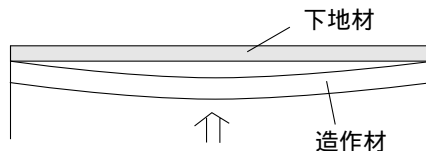
**注意**

造作材の下地材取り付け後、造作材本体を後かぶせで固定する際、固定が甘いと造作材が落下してケガの原因となりますので、樹脂シート専用ボンド併用にて、確実に造作材本体を下地材へかぶせ込み、固定してください。

廻り縁、付長押、付鴨居、付柱の取り付け（手袋着用にてお取り付けください。）  
 各造作材本体を下地材へ、確実に嵌合するまで、たたき込んで固定してください。  
 樹脂シート専用ボンドを必ず併用してください。



造作材本体は若干長めのサイズにて、しなせ気味に両端を先に下地材にかぶせ込み、中央部分をたたき込んでください。（よりすきまなく仕上げいただけます。）



隅柱の取り付け  
 フィニッシュネイルにて固定してください。

## 施工終了後



### 養生の方法

施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗膜のハガレの原因になりますので、別売の養生カバー( ZYO212 )および養生テープ( ZYO211 )をご使用ください。



### お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。  
 ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。